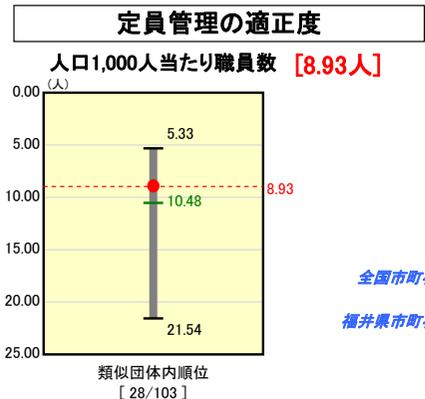
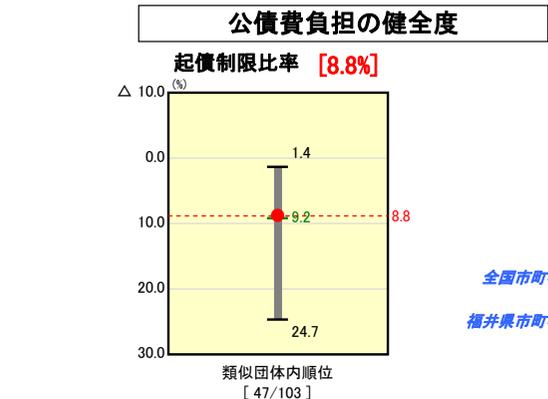
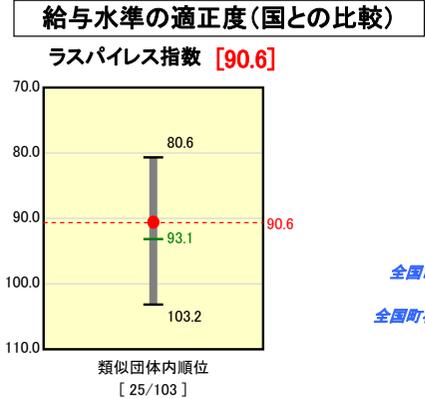
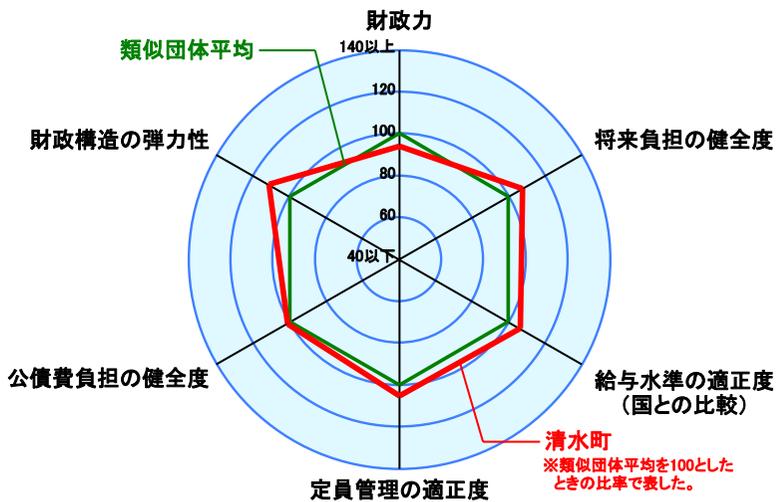
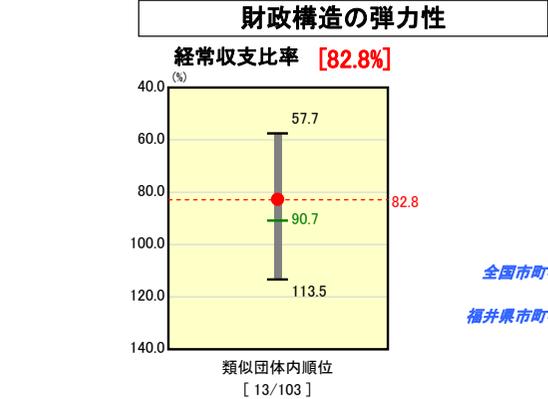
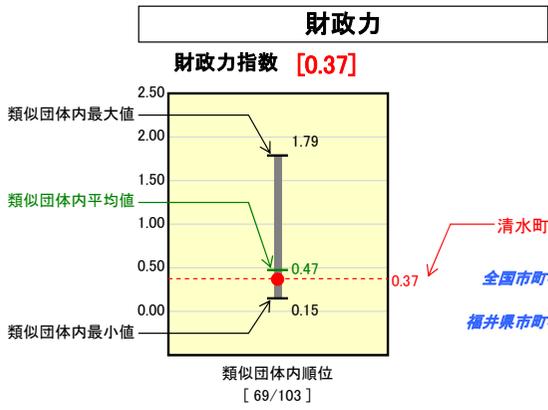


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福井県 清水町

人口	10,635 人(H17.3.31現在)
面積	42.49 km ²
歳入総額	4,918,851 千円
歳出総額	4,734,042 千円
実質収支	89,530 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

※平成18年2月1日に、旧美山町、旧越前村とともに福井市に編入合併した。

- 財政力指数**
景気の低迷により町税率による自主財源の確保が困難になっているが、法人の業績が好調なこともあり若干の上向き傾向にある。しかし財政基盤が弱いことは変わりなく、財政力指数については他の類似団体より下回っているため、福井市への編入合併を機に、財政基盤の強化を図る。
- 経常収支比率**
三位一体の改革による扶助費関係の一般財源化により経常経費は増加したが、人件費・公債費・繰出金等の削減を図り類似団体の平均を下回る水準となっている。しかし、経常経費充当一般財源は普通交付税の減少により今後の伸びは見込めない上に、平成16年度からの大型事業の展開により、今後公債費の増が見込まれ経常収支の悪化が予想される。今後は合併を機に、財政基盤の強化を図り、適正水準の確保に努める。
- 起債制限比率**
以前より地方債発行を抑制し公債費充当一般財源を減少させてきた。しかし、保健センター建設など大型事業の取り組みによる地方債の増加は否めず、今後は財政基盤の健全化を図るためにも重要施策の絞り込みや人件費を含む経常経費の削減を推進し、新福井市の長期的な財政計画の中で自主財源の確保に務めなければならない。
- 人口1人当たり地方債現在高**
起債制限比率同様、地方債発行の抑制により人口1人当たりの地方債残高も減少させることができた。今後は大型事業の実施により地方債現在高の増加は否めない状況になっている。
- ラスパイレス指数**
行財政改革による定員管理の適正化を進めてきたことにより、類似団体平均より下回っている。今後も新福井市として、より一層の給与水準の適正化に努めていきたい。
- 人口1,000人当たり職員数**
これまで機構改革や新規採用者の抑制により職員数の減少に努めてきた結果、類似団体を下回ることができた。今後も新福井市において、定員適正化計画により旧清水町としての職員定員の適正化を図っていく。